



# 北相中学校だより

合い言葉は 「挑戦・貢献・創造・誇り」



令和5年度

No. 5

5月24日発行

## 持てる力を高め合おう

校長 望月はる美

### 5月の生徒会目標

1つ1つの学校行事に向けて  
自ら考えて行動しよう



5月はどの学年も大きな校外行事に向けて、実行委員会を中心に準備を重ねています。1年生は5月11日、12日に宿泊体験学習（やませみ）を行いました。2年生は6月1日に校外学習（横浜）、3年生は5月27日～29日に修学旅行（広島・京都）に出かけます。また、先日は秋に行う「北相祭（体育の部・文化の部）」の総合開会式も行いました。

今月の生徒会目標にあるように、どの学年も、それぞれの行事のねらいをしっかりと理解し、自分たちの力で充実した活動にしていくために努力しています。

さて、今回は1年生の「宿泊体験学習」について話題にします。今回は、今までには無い「防災」の視点を取り入れた活動に取り組んできました。学年主任にその内容をまとめてもらったので、お読みください。

箸づくり



森林を守るために行った間伐で出た材を使って、「竹のはし」と「焼き杉」を作りました。間伐で森林を適切に手入れすることが、木1本1本を生長させることにつながるとともに、その根によって地盤が強くなり、土砂災害を防ぐことができるということを学びました。また、そこで出た材を活用することで、災害時に十分なものがなくても自分で工夫することの大切さを実際に体験する活動となりました。



焼き杉体験

野外炊事では、災害が起こったときに地域に貢献することのできる1つの方法である「炊き出し」を想定して、豚汁づくりを行いました。食べる場面では、自分で作った竹のはしを使用することで、一層災害時の状況を体験することができました。



野外炊事体験

夜は、「防災オリエンテーリング」を行いました。館内の電気をすべて消し、班で1つの懐中電灯を持って館内を歩きながら、様々なところに隠されている「防災グッズカード」を探し



て回りました。その後、見つけた防災グッズについて、必要だと考えられる順位とそのように考えた理由を班で話し合ったことにより、災害時に必要なものについて考えられました。また、暗いところを皆で声を掛け合って行動することにより、協力することの大切さや電気のありがたさを感じる活動にもなりました。

事前学習、事後学習を含め、「防災」の視点を取り入れた活動に取り組むことによって、自分が家庭や地域に貢献できることについて学んだ行事となりました。

学年主任 横地裕子



中学校生活最初の大きな行事で実行委員長、副実行委員長を務めた2名の感想です。

・一生に一度あるかないかという「やませみ」での宿泊体験。そんな貴重な場で実行委員長という大役をやり、うまくできたかはわかりませんが、とてもよい経験をさせてもらいました。これからも、みんなを引っ張っていけるような人になりたいです。

実行委員長 Kさん

・やませみでは、みんなをまとめる難しさと、協力して活動する楽しさを学びました。これからの学校生活でも、みんなをまとめたり、協力して活動するという意識していきたいです。

副実行委員長 Nさん

二日目のレガッタ体験。上の写真に北相中学校が写っているのがわかりますか？



### 6月の主な予定

1日	木	2年：校外学習（横浜方面）
5日	月	生徒総会
7日	水	北相中学校区小中一貫の日のため特別な日課
7～16日		期末テスト前部活動停止期間
8日	木	全校集会
13日	火	歯科検診
14～16日		期末テスト期間
19日	月	水泳学習スタート
20日	火	3年：学力分析テスト
27日	火	学校保健委員会
30日	金	学校評議員会
※5月27～29日、3年生は修学旅行に出かけます。30日、31日は振替休業日です。		